

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

外国語活動・外国語

学年	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
3	○主体的にコミュニケーションを図ることに個人差がある。	○外国語を使いたくなる場面設定をし、やり取りの経験をたくさんする。 ○一人一人に役割をもたせ、聞いたり話したりする活動をする。	
4	○外国語を聞いたり話したりすることの経験や能力に個人差が大きい。	○変化をもたせながら、歌やチャンツを取り入れ、音声や表現に慣れ親しむ。 ○スモールステップでのコミュニケーション活動を行い、やり取りの中で表現を使うようにする。	
5	○個になると、自分のことや身近な事柄について話すことに自信がない児童が多い。	○ペアや少人数グループの中で必然性のあるやり取りの場面を設定し、自信をもてるようにする。 ○相手を変えて繰り返しやり取りをすることで、自信をもって話すことができるようにする。	
6	○相手意識をもって、聞いたり話したりすることの経験や能力に個人差が大きい。	○伝え方の工夫を楽しむことを意識させ、相手意識をもって会話ができるようにする。 ○やり取りやスピーチの場面を設定し、聞き手が分かるような伝え方、話し手が話しやすい聞き方の工夫を意識して会話ができるようにする。	